

平成28年度 消防本部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
各種災害から住民の生命、身体及び財産を保護し、住民と一体となって地域の消防防災力を強化していく。	1.災害対応の充実強化	・地震等で消火栓が寸断された場合でも消火活動が円滑、効率よく実施できるように設置する。 ・震災時における消防力の強化	・耐震性貯水槽整備計画に基づき設置する。 貯水槽設置 1箇所 ・貯水槽設置予定場所の測量設計 2箇所	・耐震性貯水槽60㎡型1基(防賀川公園)を設置した。 ・次年度以降設置予定の耐震性貯水槽2基(新田辺西公園・大住ヶ丘第2公園)の測量設計を完了した。	A	・平成29年度に新田辺西公園に耐震性貯水槽60㎡型を設置する。 ・多々羅区内に耐震性貯水槽を設置するため測量設計を行う。
		・119番通報の受信や出動指令、現場活動支援、災害情報発信など迅速かつ確実に消防活動が展開できるように「消防指令システム」の高機能化を図る。	・高機能消防指令システム更新事業に基づき更新する。	・高機能消防指令システム更新事業の内容を事業概要、仕様書に盛り込み実施設計図書として完成した。		・平成29年度は、事業概要、仕様書の実設計図書に基づき、高機能消防指令システム更新事業を委託し年度末に完成させる。
		・常備消防力の強化を図るため消防車両等更新整備計画に基づき指揮隊車を更新するとともに、指揮隊としての機能強化を図る。	・消防車両等更新整備計画に基づき更新する。	・指揮隊車を導入するとともに指揮隊員研修を実施し消防力の強化を図った。		・常備消防力の強化を図るため消防車両等更新整備計画に基づき実施する。
		・精鋭な部隊の育成と強化	・消防救急活動に必要な教育講習等を受講し知識、技術の習得を図り、人材育成し組織強化を図る。	・消防救急活動に必要な資格取得講習10資格13名が受講し資格を取得した。 ・消防救急活動に必要な講習会9講習29名が受講し知識技術の向上を図った。		・今後も継続して実施する。

※【目標の達成度の区分:A. 達成できた、B. 概ね達成できた、C. 達成できなかった】

平成28年度 消防本部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	2.災害に強い市民づくり	・救命講習会等を積極的に行う。	・AEDの取り扱いを含めた上級・普通救命講習や小学生を対象とした救命入門コースを実施する。	・上級救命講習会を12回実施し73名に修了証を交付した。 ・普通救命講習会を83回実施し1,299名に修了証を交付した。	A	・今後も継続して実施する。
	3.火災予防対策の推進	・住宅火災からの死傷者を未然に防止し、被害の拡大を防止する。	・住宅用火災警報器の設置促進及び出火防止の啓発活動を実施する。	・市広報紙に5回掲載とホームページに常時掲載し、啓発に努めた。 ・春と秋の火災予防運動時に「幼年消防クラブ」と「京田辺市危険物安全協会」と合同で啓発活動を実施した。	B	・次年度も継続して広報を実施する。
		・防火対象物・危険物施設における火災予防の推進	・防火対象物における防火管理対策、危険物施設における安全対策の整備に関する指導及び消防関係法令の違反是正指導を推進する。	・査察実施計画対象物(防火対象物と危険物施設)の877件のうち、577件の査察を実施し、適切な指導を行った。		・未実施となった計画対象物は、次年度の実施計画で優先実施対象物とし、適切な指導を行う。
		・事業所における自衛消防隊の育成指導	・日常的な防火管理と災害時における活動要領等の指導を推進する。	・事業所での各種訓練及び防火指導は、延べ344回実施し、延べ16,431名が参加しました。		・訓練未実施の事業所だけでなく実施した事業所にも訓練の実施を呼びかける。

※【目標の達成度の区分:A. 達成できた、B. 概ね達成できた、C. 達成できなかった】

平成28年度 消防本部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	4.消防団員の加入促進	・現場活動が可能となる最低人員の確保と装備の充実を図る。	・広報及び市ホームページへの掲載やイベント等を通じて勧誘活動を実施する。	・各自治会、区等で行われたイベントや防火指導で消防団員の勧誘活動を行った。 ・学生消防団員3名及び女性消防団員2名の入団があった。	B	・今後も継続して勧誘活動を実施する。
	5.職員の意識改革	・市民に信頼される消防行政の推進を図る。	・各所属に服務リーダーを置き、服務規律を遵守する。	・職員一人ひとりが服務規律を遵守して意識改革に努めている。	A	・今後も継続して実施する。

※【目標の達成度の区分:A. 達成できた、B. 概ね達成できた、C. 達成できなかった】